

日吉台地下壕保存の会

会報

日吉台地下壕保存の会
第4回総会

第4回総会で挨拶される新会長の鯫島重俊氏

今年こそ運動の成果が形になる芽を育てたいものと思う。塾当局ともよく話し合つて、私たちの意のあるところ、即ち戦争という愚行を再び繰り返さないための「記念物」を残す仕事をやっているのだということを理解してもらいたいと思う。ベンとベンの慶應義塾には、その素地が十分にあるものと信ずる。皆様の御協力をお願ひする次第である。

この会も啓蒙の段階から、運動の段階へと徐々に進んできたようだ。何かを成し遂げると、やはり世間の人達も注目してくれる。注目されると運動も発展する。もはや地域行政当局との協力なくしては、前へ進めなくなつている。

第18号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL. 045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込 (口座番号) 横浜2-62997

(加入者名) 日吉台地下壕保存の会

目 次 頁

○新会長挨拶	1
○第1回幹事会報告	2
○第2回幹事会報告	2
○地下壕を見学された方 からのお便り	3
○地下壕見学会感想文	3
○編集後記	4

新会長挨拶

鯫島 重俊

永戸前会長にくらべると経験も識見も劣るのだがなどと考えながら、会長になることを承諾した。寺田事務局長の誠実さと実行力をよく知っているので、その陰になつて何かできるかも知れぬと、なんとなく思つたわけだ。

第一回幹事会△△趣意生口

学会を、八月六日・七日
に行う。

第二回幹事会△△趣意生口

宿泊代：一泊二食付で、
六二〇〇円

2 保存運動の進の方

交通費：上野→長野間
乗車券三八二〇円

日時 六月二十四日

場所 慶應義塾

藤山記念館中会議室

往復で、二三二六〇円

日時 五月二三日午後五時半
場所 慶應義塾

藤山記念館中会議室

報告事項

事務局長より

1、会員数四八一名

(五月一二日現在)

2、四月一八日：保存の会第
四回総会。

参加者四〇数名。

3、四月二九日：千葉県木更
津の第2海軍航空廠地下

壕調査に参加（寺田）。

4、五月三日：大聖院近くの
地下壕の徹底調査。

二〇数名参加。

5、五月五日：元海軍通信隊
の方と幹事三人で蟹が谷
の地下壕を調査。

号発行。

議事

1、一九九二年度の具体的な
活動計画について

1 地下壕の見学会の予定

松代大本営地下壕の見

報告事項

事務局長より

1、会員数四八九名

(六月一二日現在)

2、六月二八日：大学生協東

京地連平和文レク委員会

主催で八王子浅川の地下

工場跡を見学予定。

3、三つの教職員団体、二つ

のP.T.A.、その他多くの

会員の方から日吉台地下

壕を見学したいという要

望が寄せられたが、事情

を話してお断りした。

議事

1、松代の地下壕の見学会

日時：八月七日（金）
～八月八日（土）

2、パンフレットの発行予定

集合：JR長野駅改札口前
夏休みに原稿を書き、

出来るだけ早く発行する。

6会報第一八号の発行予定

宿泊：松代の民宿「六文錢」

電話：0262-78-2619

参加費：1000円。

3、パンフレットの発行

参加費三千円

宿泊交流費約七千円

申込期限七月一〇日

当日微取

賛同金五千円。

今年も会として賛同する。

日時：七月三五日（土）

～七月三六日（日）

場所：吳「音戸ロッジ」

集会参加条件：

全員宿泊一泊二日

食事付き

申込期限七月一〇日

当日微取

れた指令によつて、多くの人々が死んでいたことを思うと、胸がしめつけられる思いがした。

地下壕は是非保存すべきだと思う。具体的には入会させて頂いてから考えたい。

○とても素晴らしいもので

あり、みんなにも公開したらよいと思う。このままではもつたいない。出入口を正式に設け、公開して欲しい

○太平洋戦争の遺物ともいうべき地下壕があると聞き、戦争を体験したもの一人として是非見学してみたいと思ひました。

思つていていたより広さ、大きさ、長さ、ただただ驚きました。日吉の人々、戦死した兵士の皆様、親の思いなど、改めて考えさせられました。

戦争と平和を考える原点として、是非、世界平和のため役に立てて頂きたく、保存して欲しいと思います。

○一九三七年生まれ、幼年時代すべて戦争。小学生で東

京大空襲と横浜大空襲と見てきました。被害者の立場から

戦争は反対ですが、これも大切だと思います。教職の立場から、子供に平和を教えることの難しさを感じつつ、広島の修学旅行を実施したことあります。

「難しくなつても、平和を伝えていくこと」のためにも、知つていることの語り伝えることの大切さを切に感じます。

地下壕は第二次大戦のモニメントとして保存すべきだと思います。行政、民間団体への働きかけをつよくすべきです。

○It was a very educational experience. The Japanese was difficult to understand. But it was nice to see that people are interested in the past.

I think your reasons for keeping. The care open are all correct. We must not dwell on the past but we cannot forget it either.

○想像していたよりもきれいで、過去の技術に驚いた。

未来に向けて建設するとき、過去のものを壊すのは仕方が無いこともあるが、悪い思い出を忘れるために放置してもまうのは気が引ける。何か、区切りをつける方法はないものか。

○地下壕は、とても昔のものは思えず、実際に使えるような気をしてならず、多くの人達にみせてあげたいと思う気持ちです。戦争の大変さがわかる気持ちです。

○玉碎した硫黄島の壕を二年前に見せてもらつた。異様な感じを禁じえない内部だった。指令元の日吉壕はどうだったのか知りたくて、恐らく、前線とは違ひすぎる程、戦争とは思えない程の壕の中を予想して入つた。

予想通りコンクリート整備で単なる壕であつたが、何からかの指令で大勢が死んでいたりとを思つと、やはり硫黄島の壕と関係していく。と

にかく複雑な気持ちだ。

地下壕は保存すべきと思う。保存することで、何故広島の原爆ドームを残すのかと、同じ意味を子供達に伝えたいと思う。

短編集後記

◆総会も無事終わり、やれやれといった処で、いろいろな行事が重なり活動が余りやれなかつた。

◆地下壕の見学会をやつて欲しいとの要望が多くあつたが、やれないのが残念である。

◆その分保存運動や調査に力を入れたいと思う。

◆PKOが成立したが、将来どのようになつていくか心配である。

◆一人一人が、家族や国や世界の将来の事を真剣に考えなければならぬ時代ではないかと思う。